

大島小 学校だより



島っ子だより

第40号 令和3年3月11日 文責 校長 藤瀬 安孝

本番さながらの総練習

3月も第2週になり、来週の卒業式へ向けて、朝から教室から聞こえてくる式歌を練習する声などにより、日に日に実感がわいてきます。

今日は1・2校時に、卒業式の総練習を行いました。

今年度も、壇上でのご来賓等の挨拶はありませんので、今日の総練習は、本番さながらの内容で行いました。

休業で、ほぼ卒業式の練習ができなかった昨年度とは違い、今年は例年に近い形で練習を重ねています。

卒業生一人一人に、証書を渡す練習もしました。式全体で見ても、別れの言葉なども含め、かなりの部分で仕上がってきています。6年生と過ごす日々もあとわずか。本当の最後の別れの寂しさという感情が加わる本番当日は、卒業生・在校生、それぞれの心に残る式にできそうな、そんな予感をさせる、今日の総練習でした。



校旗に託して・・・

39号には、鼓笛隊のバトンタッチである鼓笛移杖式のことを載せていましたが、今朝は、最上級生としての務めを引き継ぐ「校旗引継ぎ式」を行いました。卒業生と在校生の代表者が、校旗の受け渡しを行いました。5年生からは、これまでの伝統を引き継ぎ、よりよい大島小学校を作ります、という力強いあいさつがありました。

卒業までのあと5日間、6年生は登校しますが、5年生は今日から最上級生だという気持ちで毎日を送ってほしいということを校長の話では伝えました。また、それぞれの学年で、一つ上がった次の学年になった気持ちで明日から過ごす心がけをもち、6年生が安心して巣立つことができるようにしましょう、ということも話しました。

在校生は、卒業式のような凜とした態度で、校旗引継ぎ式に臨んでいました。きっと、来年度も、これまでのよき大島小学校らしさが引き継がれていくことでしょう。



3.11 あれから10年

校舎前の花壇には、子どもたちや管理員さんが植えた苗が花をつけ、色とりどりに目を楽しませてくれます。日差しも春めいた暖かいものになってきています。写真にあるように、今日は半旗を掲揚していました。未曾有の大災害、東日本大震災から10年が経ちました。地震に対する避難訓練の場でも、子どもたちに災害の大きさ・恐ろしさと、地震発生時に自分の身を守る心構えを伝えてきました。今日は、発生時刻(14:46)には、サイレンに合わせて各教室で黙とうを行いました。一日も早い復興と、犠牲となられた方のご冥福を祈ります。

